

まちのきこり人育成講座（育樹コース）第3回活動報告

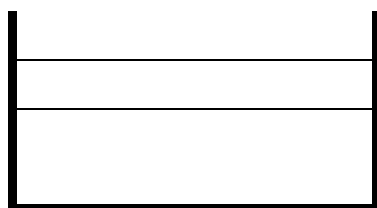
作成 2011 年 5 月 20 日 水野

1. 開催場所 : 県民の森（ふれあいの館）及びまなびの森
2. 開催日 : 2011 年 5 月 14 日（土）午前 9 : 00～15 : 00
3. 会 員 : 水野、清水（午前のみ）
講 師 : 瀧川陽子さん
講座参加者 : 3 名

4. 内容

午前：直根の話しを中心に、竹ポットで育苗を行うようになった経緯、竹ポットの作成方法をパワーポイントを使い説明。県民の森からまなびの森に場所を移し、瀧川さんより細かな種子用の苗床作成について講義を行ってもらった。

苗床は鹿沼土 3 の上にバーミキュライト（あるいはピートモス）を 1 の割合で水平にセットし、たっぷりと水を与えた後に種子を均一になるようにばらまきを行い、種子の上にバーミキュライト（あるいはピートモス）を振り掛ける。



←育苗バット

←バーミキュライト（あるいはピートモス）： 1

←鹿沼土： 3

用意した種子は、アカヤシオ、シロヤシオ、ホンシャクナゲ、ドウダンツツジ、サワフタギ、リョウブ、シロモジ。ただ、アカヤシオなどは実際の種が硬い殻に覆われており、殻をむく作業から行うこととなった。

殻に覆われたものは、殻から出して冷蔵庫等での保存を行っていかなければ成らないことが分かったが、種子採取の際にどれが本当の種子なのかを見極めることが今後の課題として出て来た。

午後：午後からは竹ポットの作成とドングリを植え付けてもらった。育苗バットは 10 数箱、竹ポットは約 30 個ほどを作成した。来年以降の植樹用に大きな威力を発揮することを期待したい。バットやポットはまなびの森の育樹コーナーに置き、寒冷紗を掛けて育苗を行っている。

